

## 題材の目標

- (1) 形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、意図を全体のイメージなどで表現することができる。材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表すことができる。
- (2) 伝える目的や条件、中身のイメージなどを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝える目的や条件、中身のイメージなどからパッケージをデザインすることの構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫して見通しをもって創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

【準備等】画用紙、ケント紙、両面テープ、透明コートフィルム、参考資料、ワークシート、タブレット端末、筆記用具、色鉛筆、絵の具

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 パッケージデザインについて考える。</p> <p>★パッケージデザインにおいて大切なこととは、どんなことだろう。</p> <p>○パッケージデザインを鑑賞する。</p> <p>○商品のイメージや中身との関係について考え、作り手の気持ちを感じ取る。</p> <p>2 伝える目的や条件を基に構想を練り、制作する。</p> <p>★伝える内容に合わせて、主題を考え制作をしよう。</p> <p>○多くの伝える相手や内容、地域や社会との関わりなどから主題を生み出す。</p> <p>○情報や気持ちなどを分かりやすく美しく的確に伝えるという効果と美しさなどとの調和を考え構想を練る。</p> <p>○イメージの表現の可能性を考えて材料や方法を選ぶ。</p> <p>○よりよいもの、より美しいものを目指して試行錯誤を続けるなど創意工夫を続け、創造的に表す。</p>	<p>・2次元コードを読み取り、デザインの工夫に触れる。</p> <p>・本物の製品やパッケージなどを目の前で提示したり実際に使ってみたりして、実感を伴わせながら理解させる。</p> <p>・地域や社会との関わりなどといった客観的な視点をもたせて生産者の心情や意図などについて考えさせる。</p> <p>【評】美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え構想を練り、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・伝えたい内容を生徒にとって価値ある内容にし、伝える必要性を実感させる。</p> <p>・内容や雰囲気になじむ構成や配色、文字の取り入れ方など、美的秩序がもたらす効果を捉えさせる。</p> <p>【評】形や色彩、質感などの性質や、造形的な特徴などを基に、全体の意図やイメージなどで捉えることを理解する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・強く表したいことを心の中に思い描かせ、表現方法を模索させる。</p> <p>・創造的に表すことができるように、表現方法や材料の生かし方を学び新しいことに</p>

<p>3 鑑賞会を行う。</p> <p>★鑑賞をして、見方や感じ方を深めよう。</p> <p>○デザインについて作り手や使い手の美意識や美的選択能力などを読み取り、見方や感じ方を深める。</p> <p>○造形の要素などに着目し、形や色彩などの組合せによる構成の美しさなどについて実感を伴いながら理解する。</p>	<p>挑戦させる。</p> <p>【評】伝える目的や条件、中身のイメージなどを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・日常で幅広く利用された同じ目的でつくられた他の作品と比較させる。</p> <p>【評】美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・伝える相手や中身のイメージを考え、主題を基に単純化や省略、強調、材料との組み合わせや、目的と美しさなどとの調和を総合的に考えさせる。</p> <p>【評】伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
--	---

#### 【 備 考 】

本題材は、商品や中身の特徴を分かりやすく表すなど、パッケージにはさまざまな働きがあり、手に取る人や受け取る人の気持ちを想像しながら中身の魅力や気持ちを伝えるパッケージを考える。表現の活動において、制作の過程や完成段階などで学級全体やグループなど学習形態を工夫し、一人一人がパッケージについての自分の思いや工夫したことなどを発表してより互いを高めていく。アイデアスケッチでは、必要な情報を選択し、単純化や強調をしながら必要とされる伝達の意図が明確に伝わるように構成することを大切にする。